

徳山下松港港湾区域の変更

平成25年11月

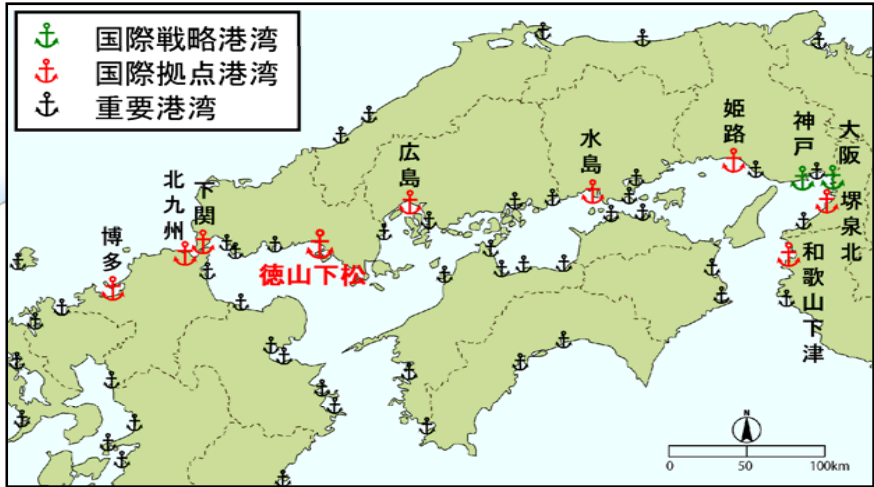
【目次】

1. 徳山下松港の概要 P1
2. 徳山下松港港湾区域の変更 P14

1. 徳山下松港の概要

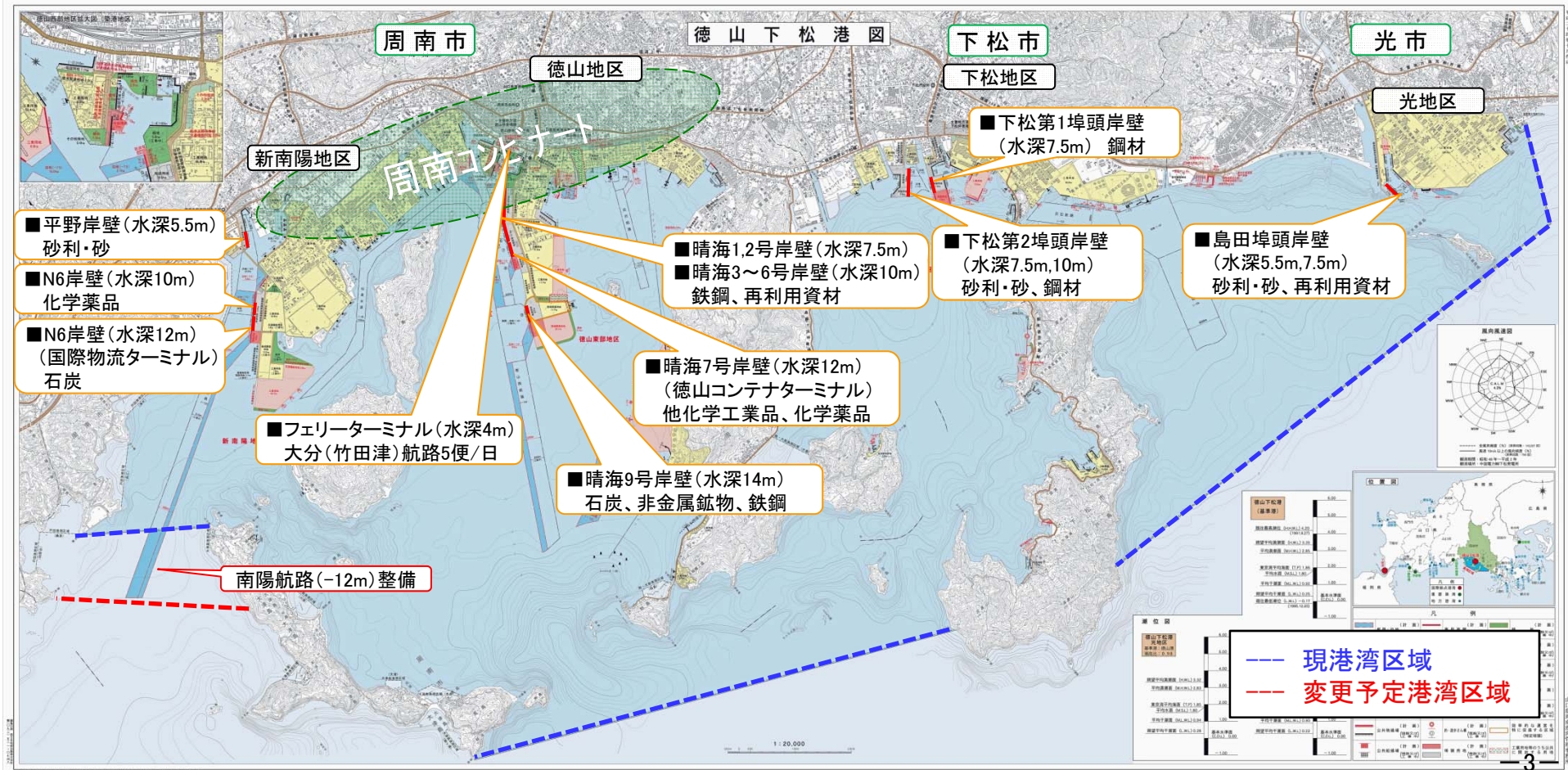
徳山下松港位置図

- 国際拠点港湾
- 重要港湾
- 地方港湾



徳山下松港の概要

- 山口県の瀬戸内海沿岸中央に位置し、**自然条件に恵まれた良港**として古くから発展。
- 背後には、**周南コンビナートをはじめとする臨海工業地帯が形成**されており、これを支える工業港として重要な役割を果たしている。
- 平成23年5月には「**国際バルク戦略港湾**」に**選定**されており、我が国の産業に必要な不可欠な石炭を安定的かつ安価に供給する広域拠点港としての役割を期待されている。



徳山下松港周辺の企業立地状況



徳山下松港主要施設及び取扱品目(新南陽地区)



施設名	新南陽N6岸壁
水深	-12m
延長	240m
主要取扱貨物等	石炭

施設名	平野岸壁
水深	-5.5m
延長	270m
主要取扱貨物等	砂利・砂

施設名	新南陽N6岸壁
水深	-10m
延長	170m
主要取扱貨物等	化学薬品、他化学工業品

施設名	南陽泊地
水深	-12m
面積	35.6ha

施設名	富田航路
水深	-9m
幅員	150m

施設名	南陽航路
水深	-10m
幅員	210m

周南市



徳山下松港主要施設及び取扱品目(徳山地区)

周南市

施設名	晴海5号岸壁
水深	-10m
延長	185m
主要取扱貨物等	なし(耐震工事中)

施設名	フェリーターミナル
定期航路	大分県(竹田津)
便数	5便/日

施設名	晴海1・2号岸壁
水深	-7.5m
延長	260m
主要取扱貨物等	他化学工業品、再利用資材

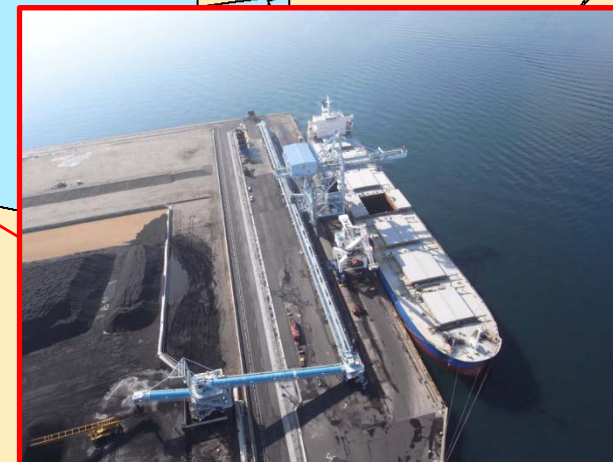
施設名	晴海6号岸壁
水深	-10m
延長	185m
主要取扱貨物等	鋼材

施設名	晴海3・4号岸壁
水深	-10m
延長	370m
主要取扱貨物等	鉄鋼、他化学工業品



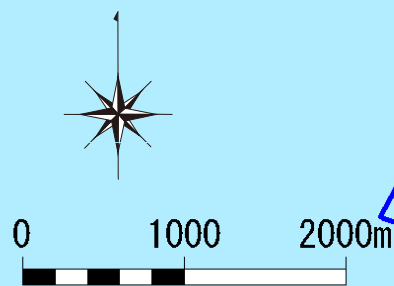
施設名	出光航路
水深	-10.5m
幅員	150m

施設名	晴海7号岸壁 (徳山コンテナターミナル)
水深	-12m
延長	240m
主要取扱貨物等	他化学工業品、化学薬品



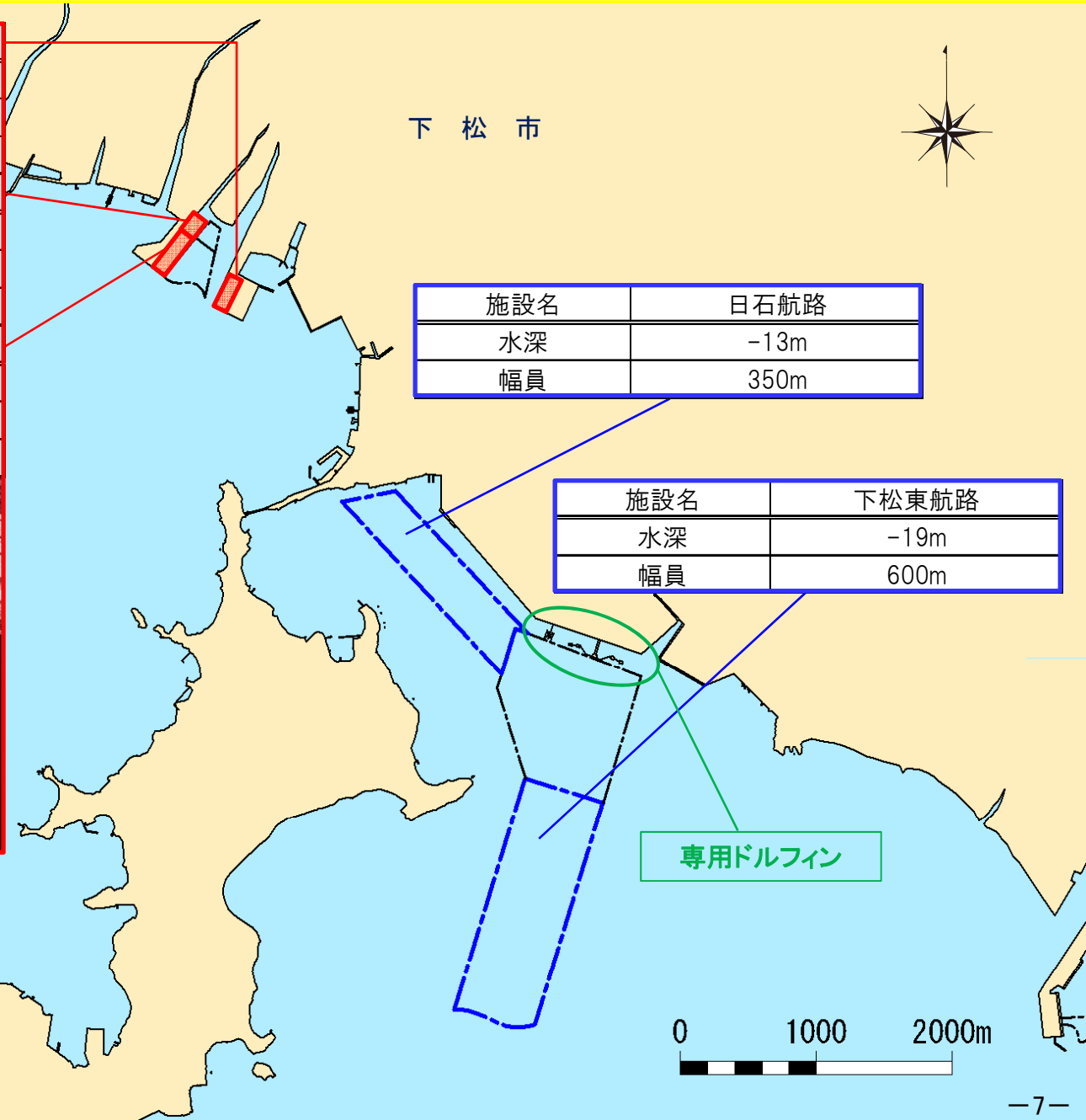
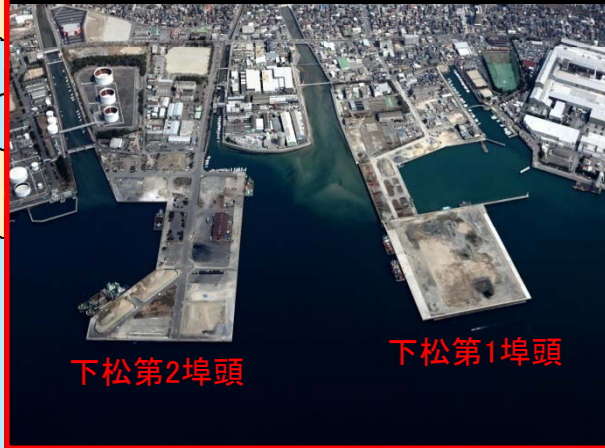
施設名	徳山西航路
水深	-12.8m
幅員	250m

施設名	晴海9号岸壁
水深	-14m
延長	280m
主要取扱貨物等	石炭、非金属鉱物、鉄鋼

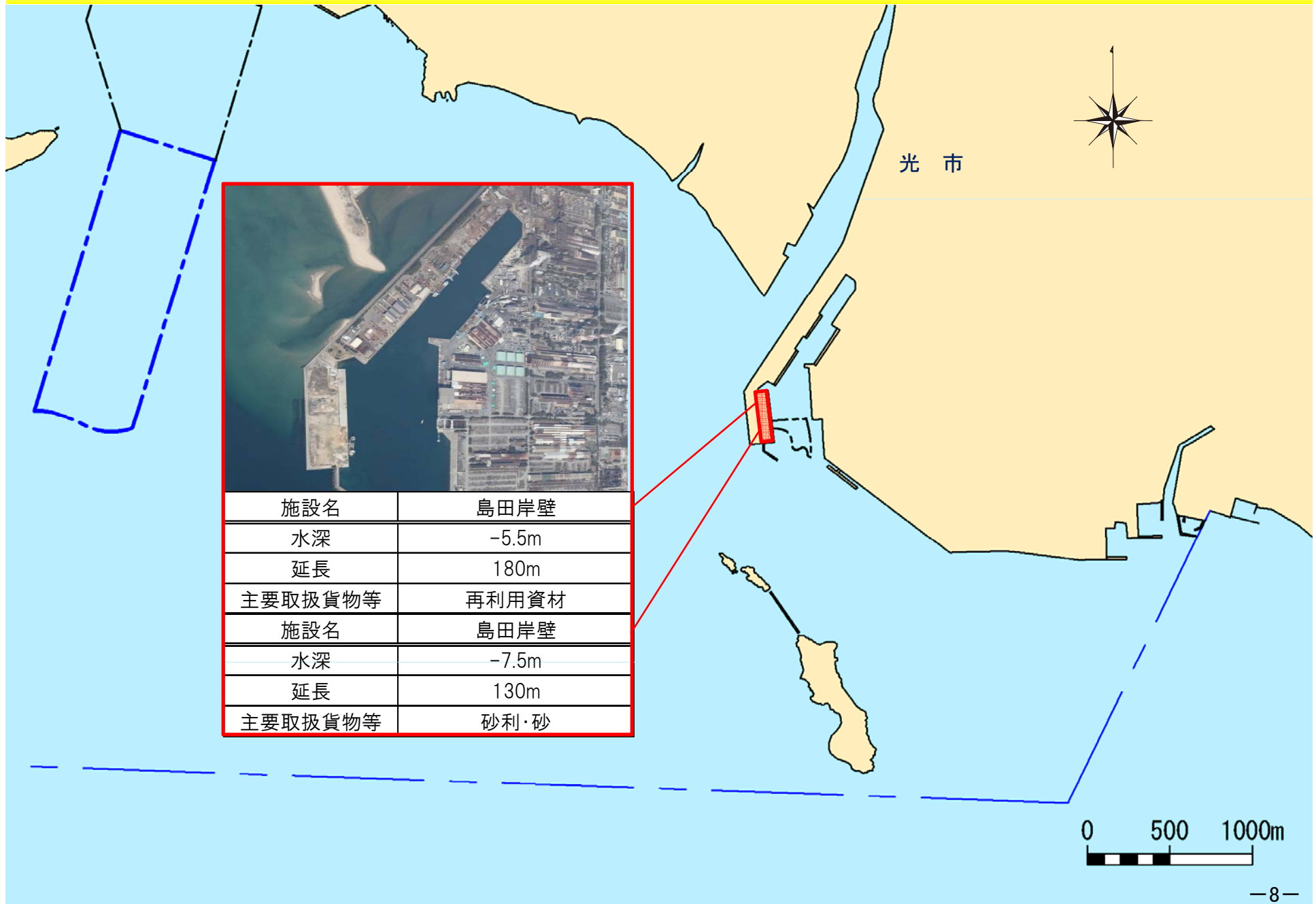


徳山下松港主要施設及び取扱品目(下松地区)

施設名	下松第1埠頭岸壁
水深	-7.5m
延長	260m
主要取扱貨物等	鋼材
施設名	下松第2埠頭岸壁
水深	-7.5m
延長	130m
主要取扱貨物等	鋼材、金属くず
施設名	下松第2埠頭岸壁
水深	-10m
延長	370m
主要取扱貨物等	砂利・砂、鋼材



徳山下松港主要施設及び取扱品目(光地区)

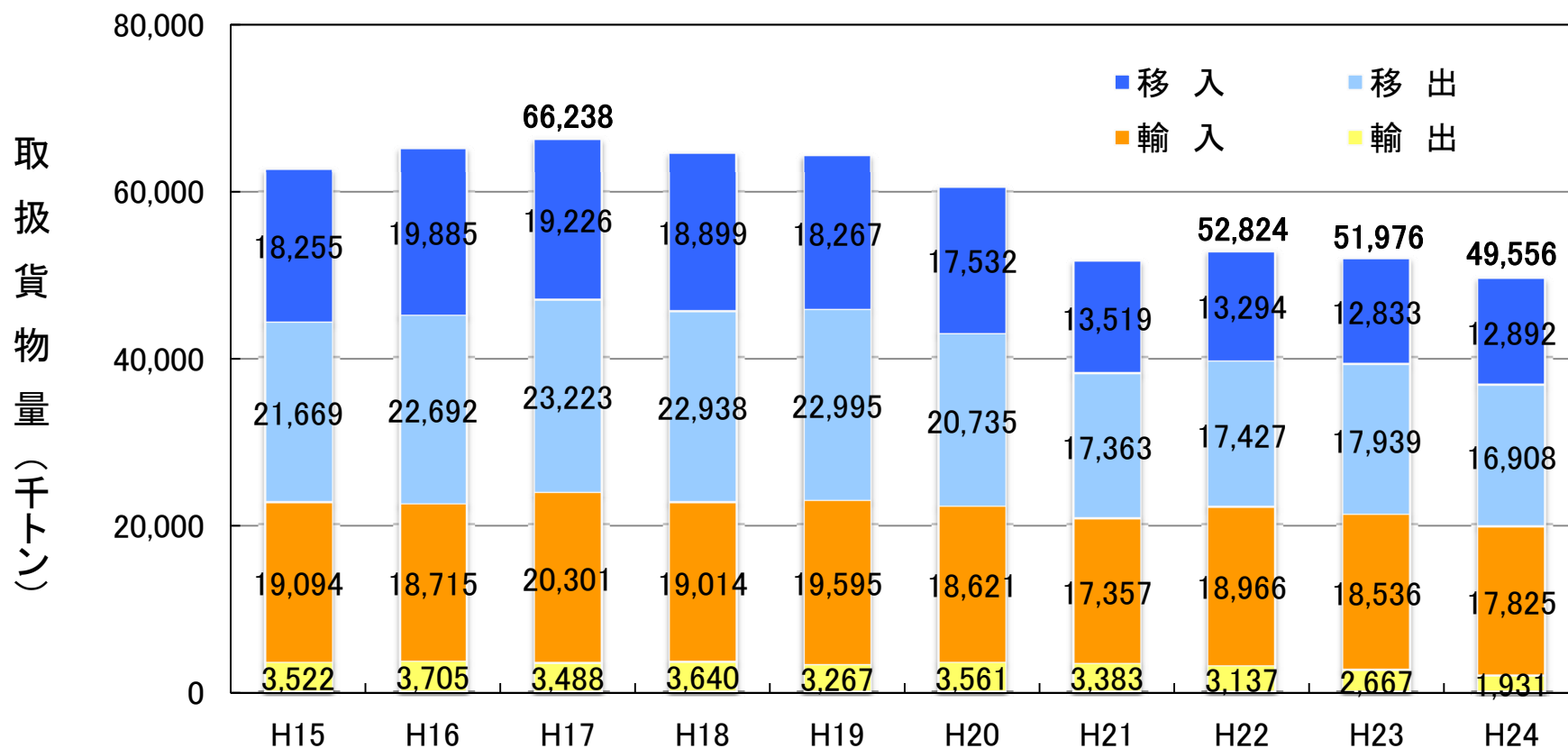


徳山下松港の取扱貨物量(全体)

取扱貨物量の推移

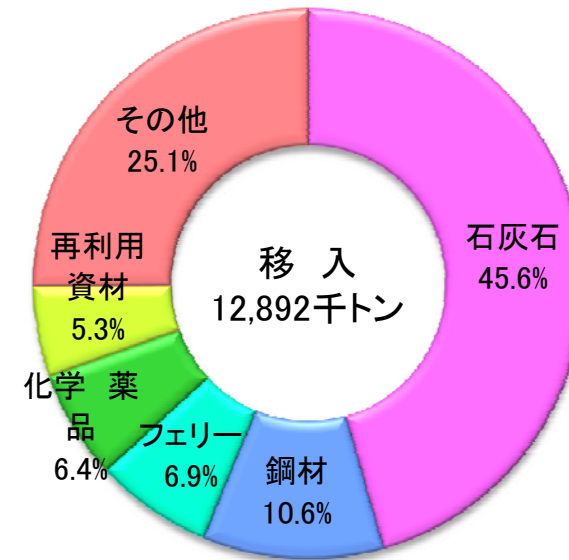
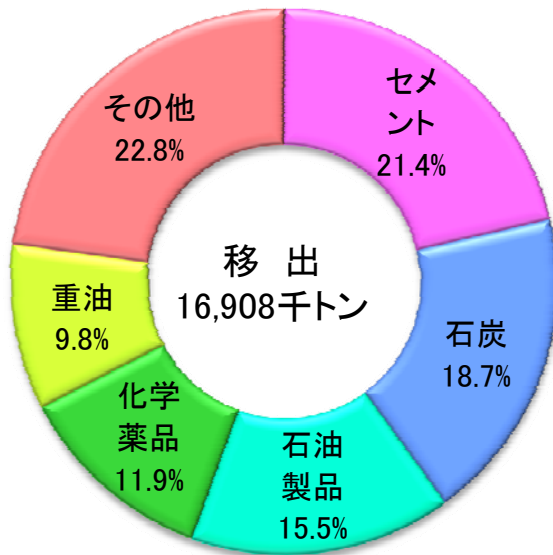
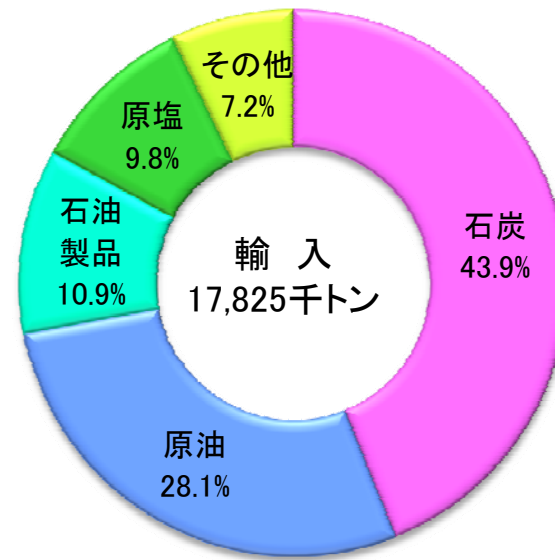
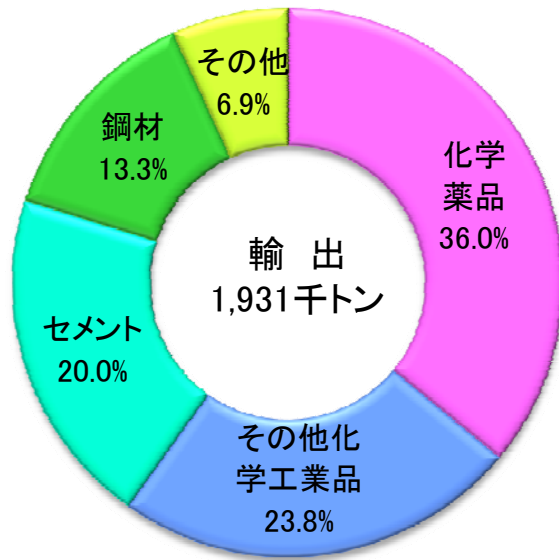
○平成24年における取扱貨物の動向

- ・取扱貨物量: 4,956万トン(対前年比95.3%)
- ・外貿貨物量: 1,976万トン(輸出: 193万トン、輸入: 1,783万トン、対前年比93.2%)
- ・内貿貨物量: 2,980万トン(移出: 1,691万トン、移入: 1,289万トン、対前年比96.8%)



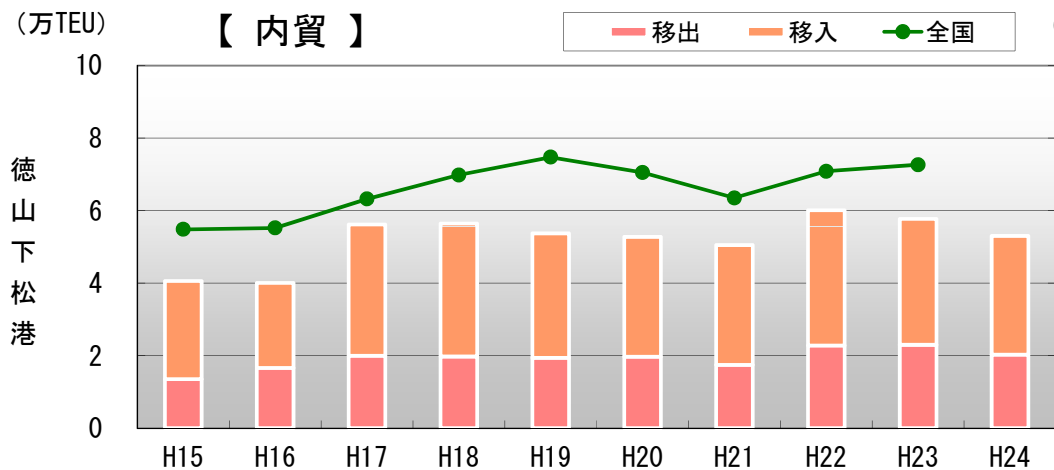
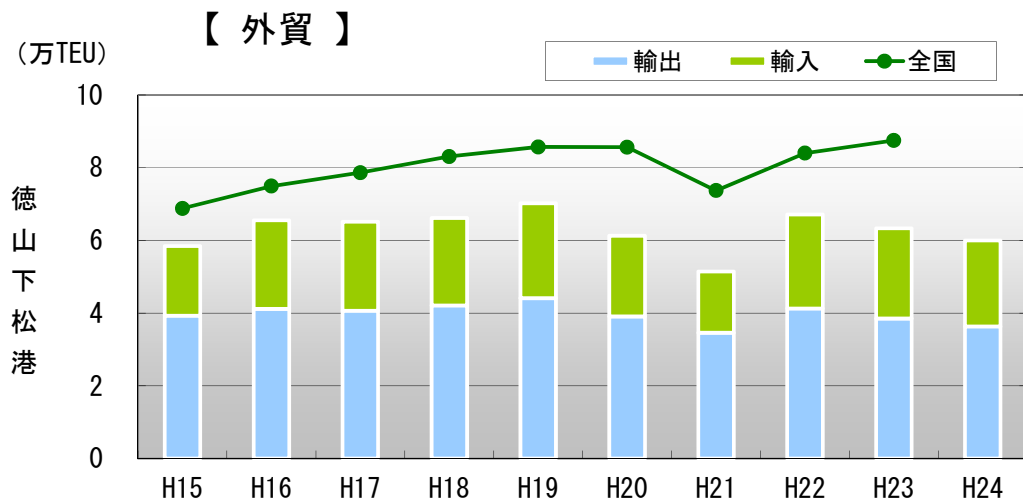
出典：港湾統計及び山口県港湾課統計資料

取扱貨物の内訳(平成24年)

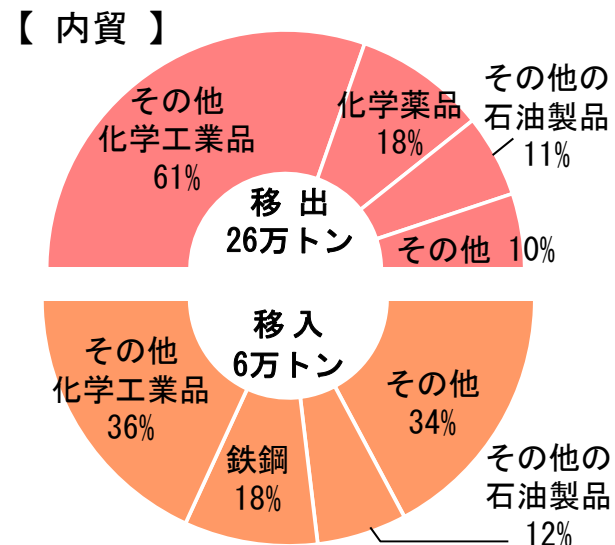
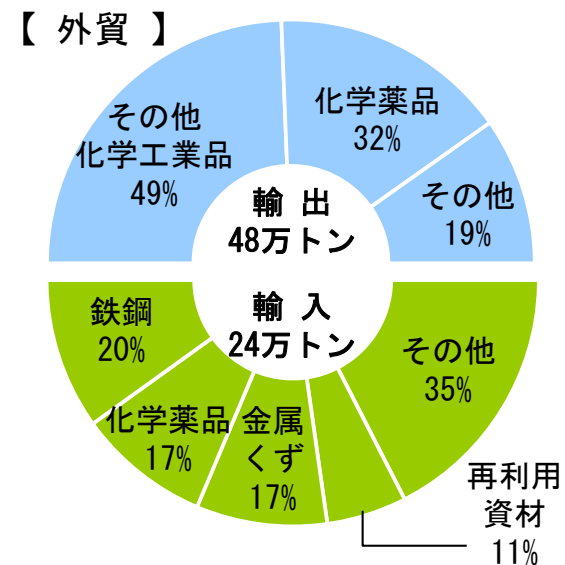


徳山下松港の取扱貨物量(コンテナ)

取扱個数の推移

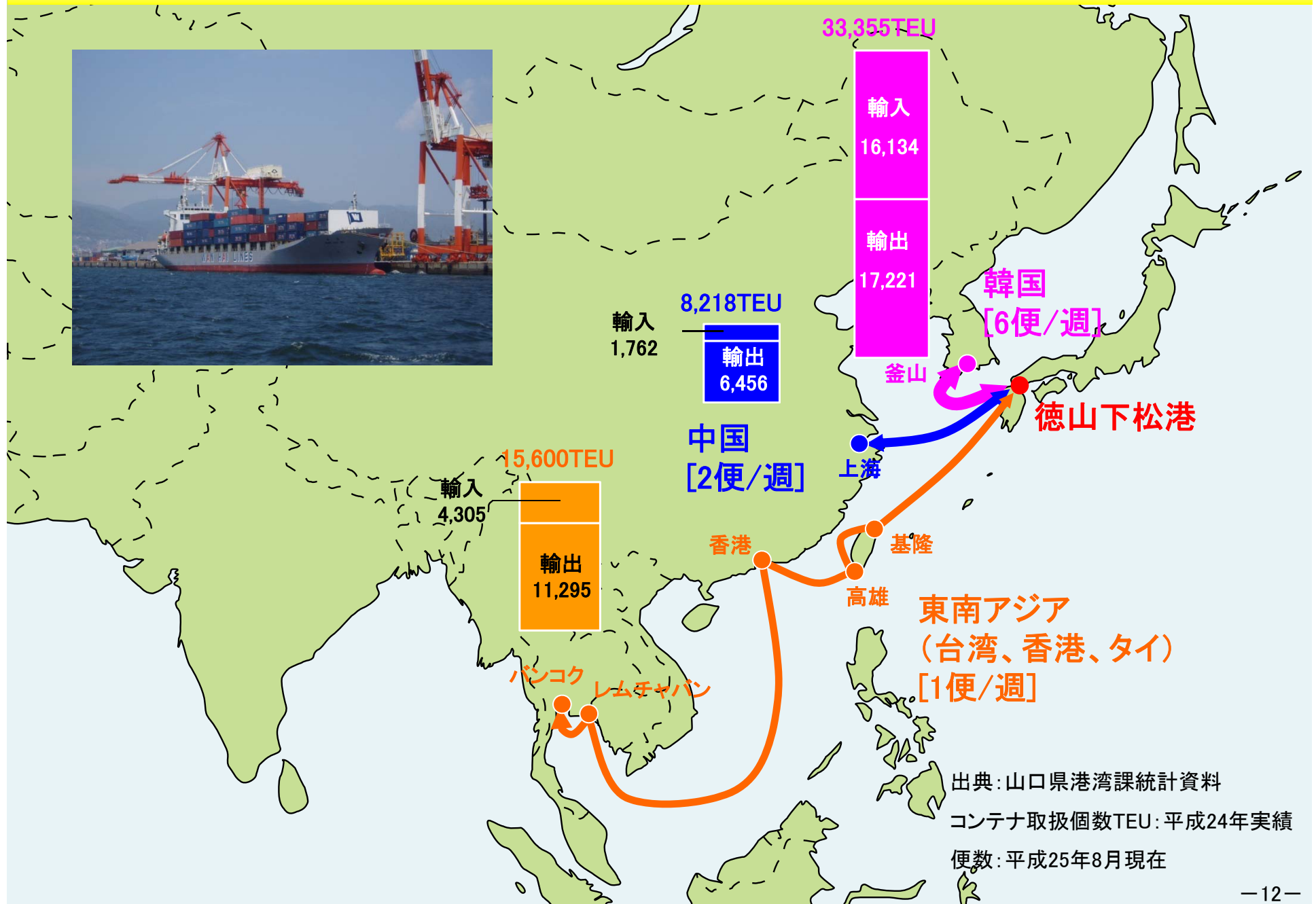


品目別のシェア



出典：港湾統計及び山口県港湾課統計資料

国際コンテナ定期航路の就航状況



徳山下松港における船舶の入港状況

入港船舶隻数の推移

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
徳山下松港	32,395	33,050	33,292	32,519	31,684	31,664	31,160	26,151	25,540	24,515
山口県	115,566	121,389	121,049	117,740	115,797	110,916	109,290	99,728	98,435	96,572
全国	2,579,521	2,512,223	2,462,528	2,453,096	2,429,596	2,373,589	2,296,706	2,110,363	1,988,251	1,919,315

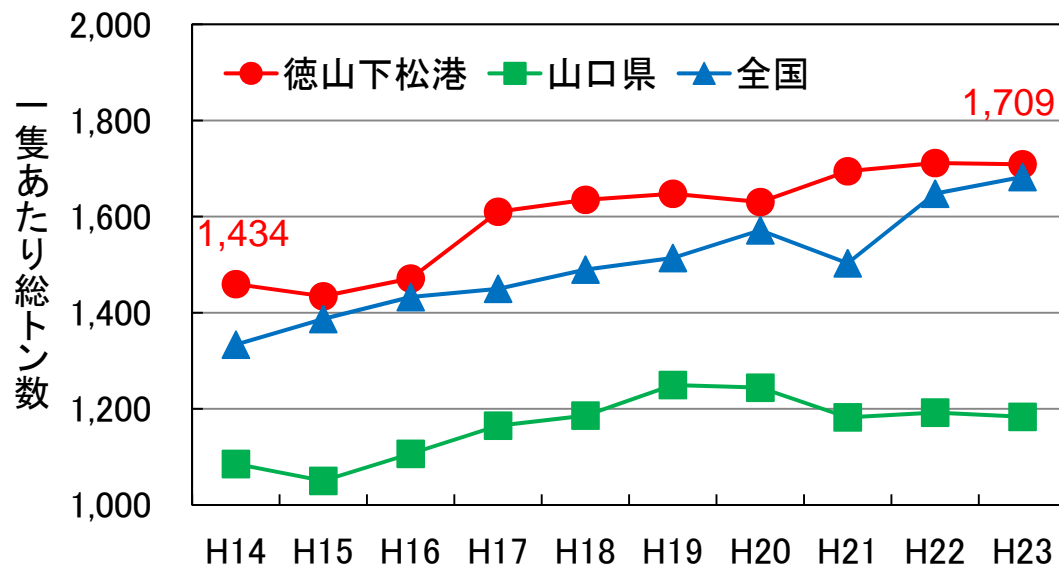
出典：港湾統計

入港船舶総トン数の推移

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
徳山下松港	47,283,236	47,401,657	48,979,775	52,359,827	51,802,189	52,166,751	50,799,777	44,309,530	43,711,038	41,895,006
山口県	125,437,844	127,501,660	133,953,583	137,179,735	137,344,595	138,606,385	135,975,008	117,916,041	117,366,919	114,292,025
全国	3,440,067,086	3,484,393,739	3,527,990,932	3,556,622,914	3,619,435,412	3,593,508,294	3,609,267,875	3,171,842,855	3,276,155,025	3,228,919,780

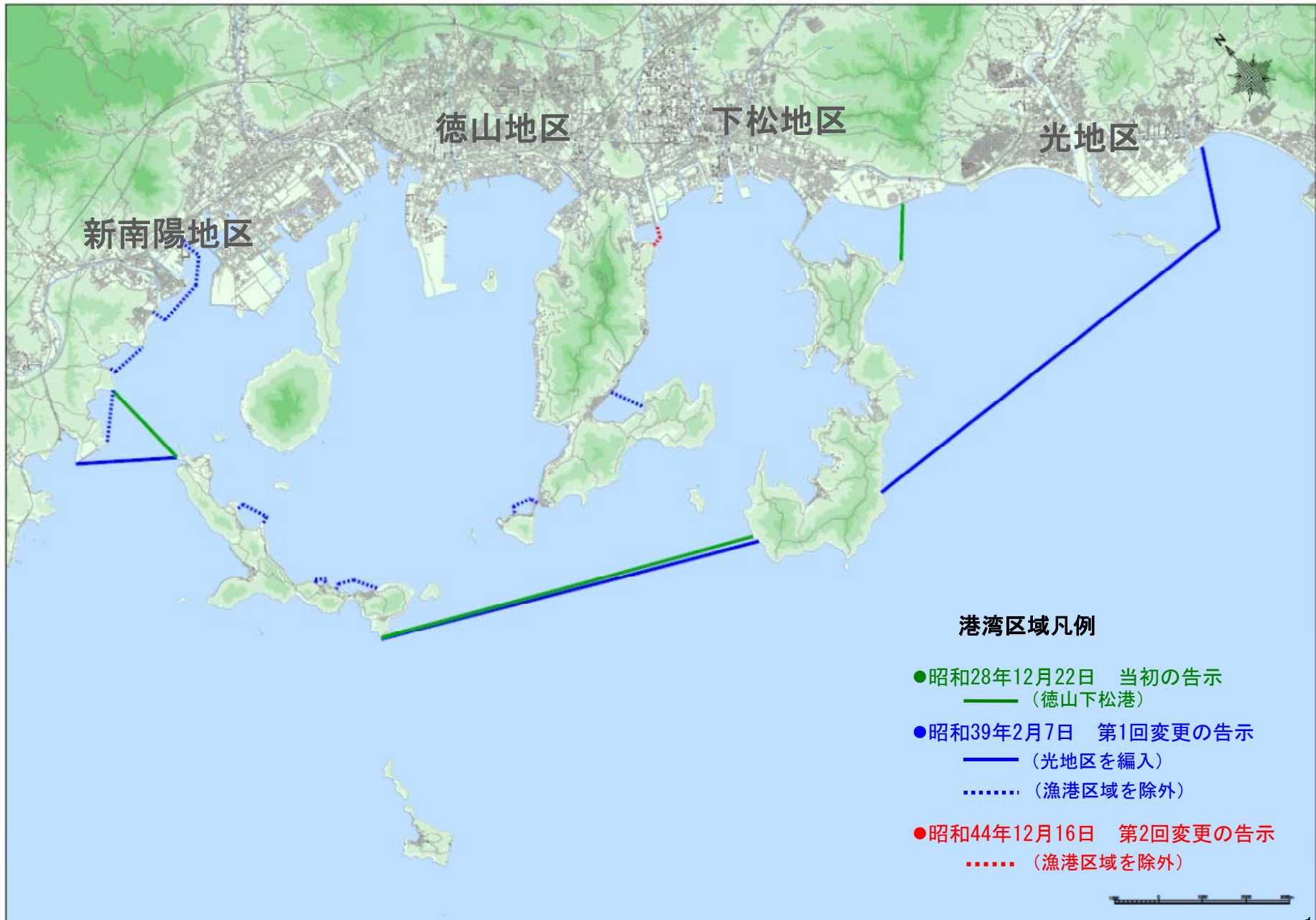
出典：港湾統計

大型化傾向（1隻あたり総トン数の推移）

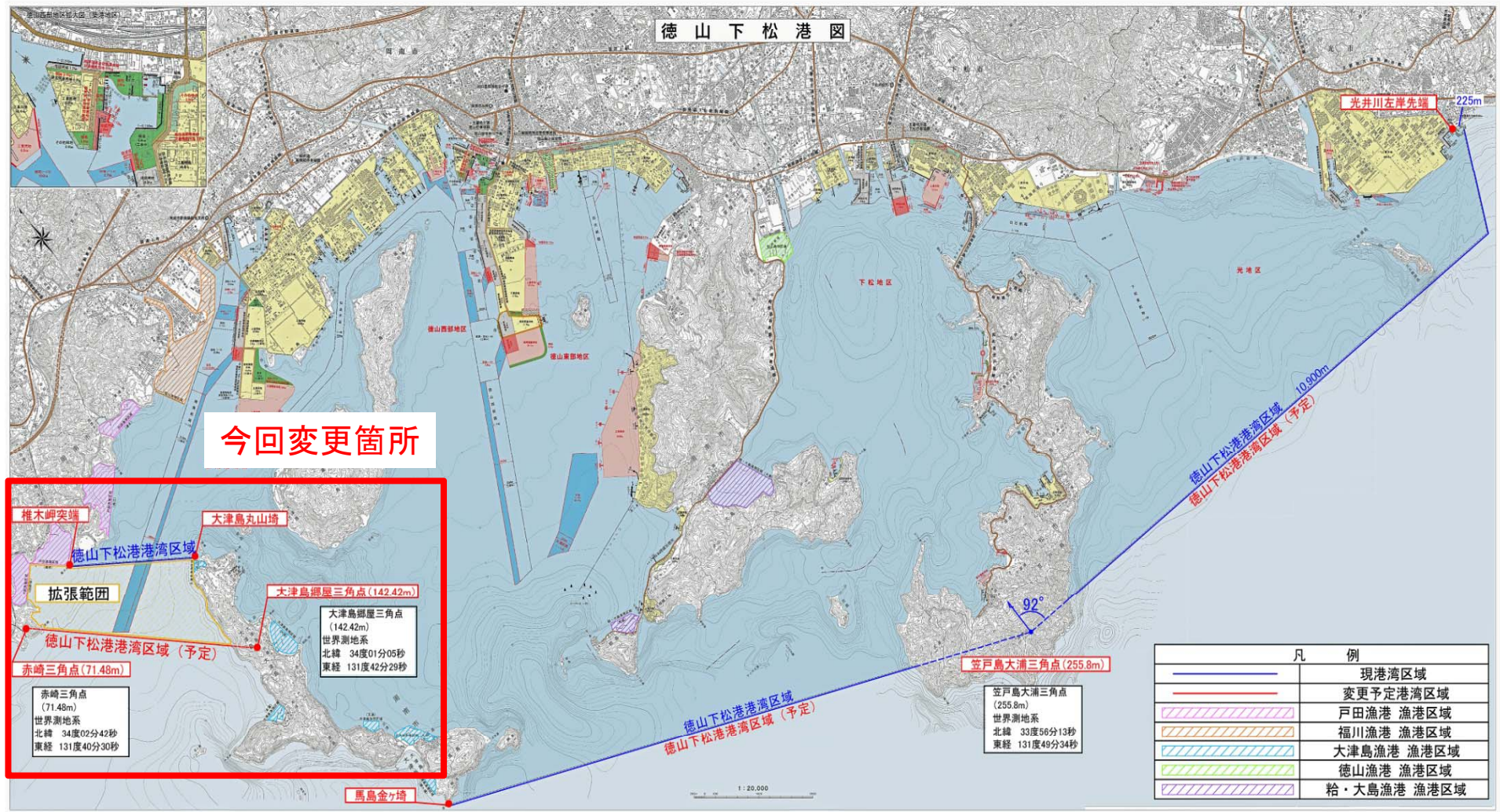


2. 徳山下松港港湾区域の変更

港湾区域変更の変遷



徳山下松港港湾区域変更図



● 変更予定港湾区域

赤崎三角点 (71.48メートル)、大津島郷屋三角点 (142.42メートル)、馬島金ヶ埼、笠戸島大浦三角点 (255.8メートル)、同三角点から92度10,900メートルの地点及び光市光井川左岸先端から護岸上東に225メートルの地点 (北緯33度56分48秒、東経131度57分19秒) の各地点を順次結んだ線並びに陸岸により囲まれた海面並びに島田川最下流鉄道橋下流の河川水面。ただし、漁港漁場整備法 (昭和25年法律第137号) に基づき指定された戸田漁港、福川漁港、大津島漁港、徳山漁港及び杣大島漁港の区域を除く。

● 現港湾区域 (昭和44年12月16日山口県告示第925号)

椎木岬突端、大津島丸山埼、馬島金ヶ埼、笠戸島大浦三角点 (255.8メートル)、同三角点から92度10,900メートルの地点及び光市光井川左岸先端から護岸上東に225メートルの地点 (北緯33度56分48秒、東経131度57分19秒) の各地点を順次結んだ線並びに陸岸により囲まれた海面並びに島田川最下流鉄道橋下流の河川水面。ただし、漁港漁場整備法 (昭和25年法律第137号) に基づき指定された戸田漁港、福川漁港、大津島漁港、徳山漁港及び杣大島漁港の区域を除く。

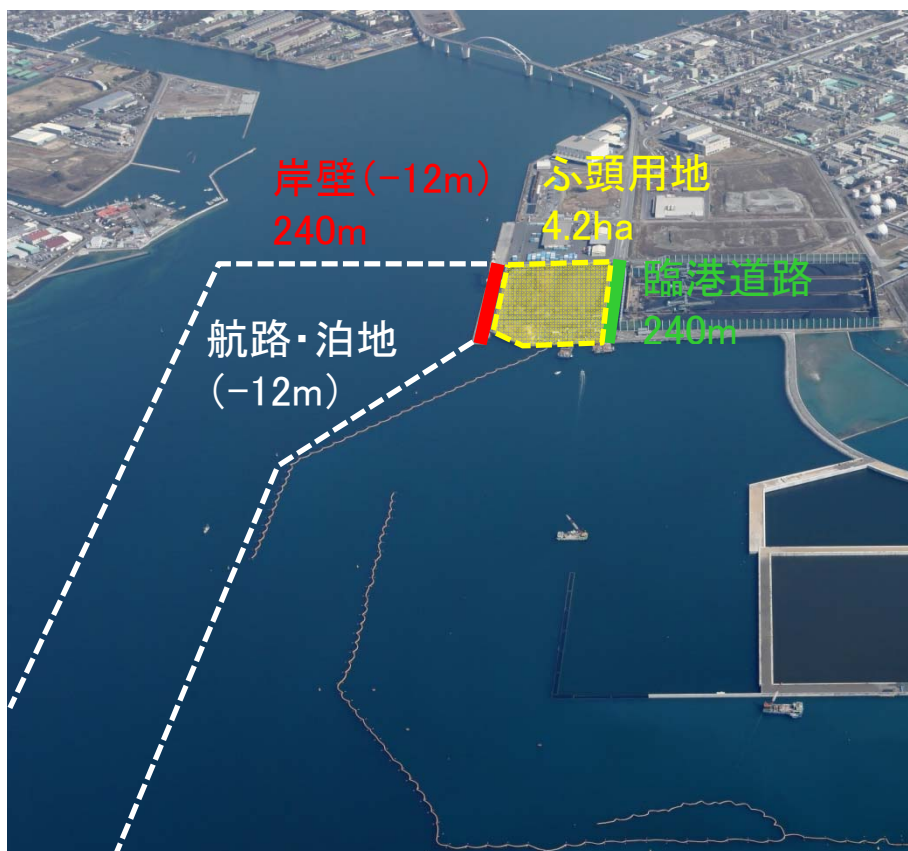
新南陽地区国際物流ターミナル整備事業

事業目的

徳山下松港新南陽地区においては、船舶の大型化に対応した係留施設及び航路、泊地の水深が不足しており、石炭等バルク貨物を輸送する船舶の大型化に対応するため

事業概要と進捗状況

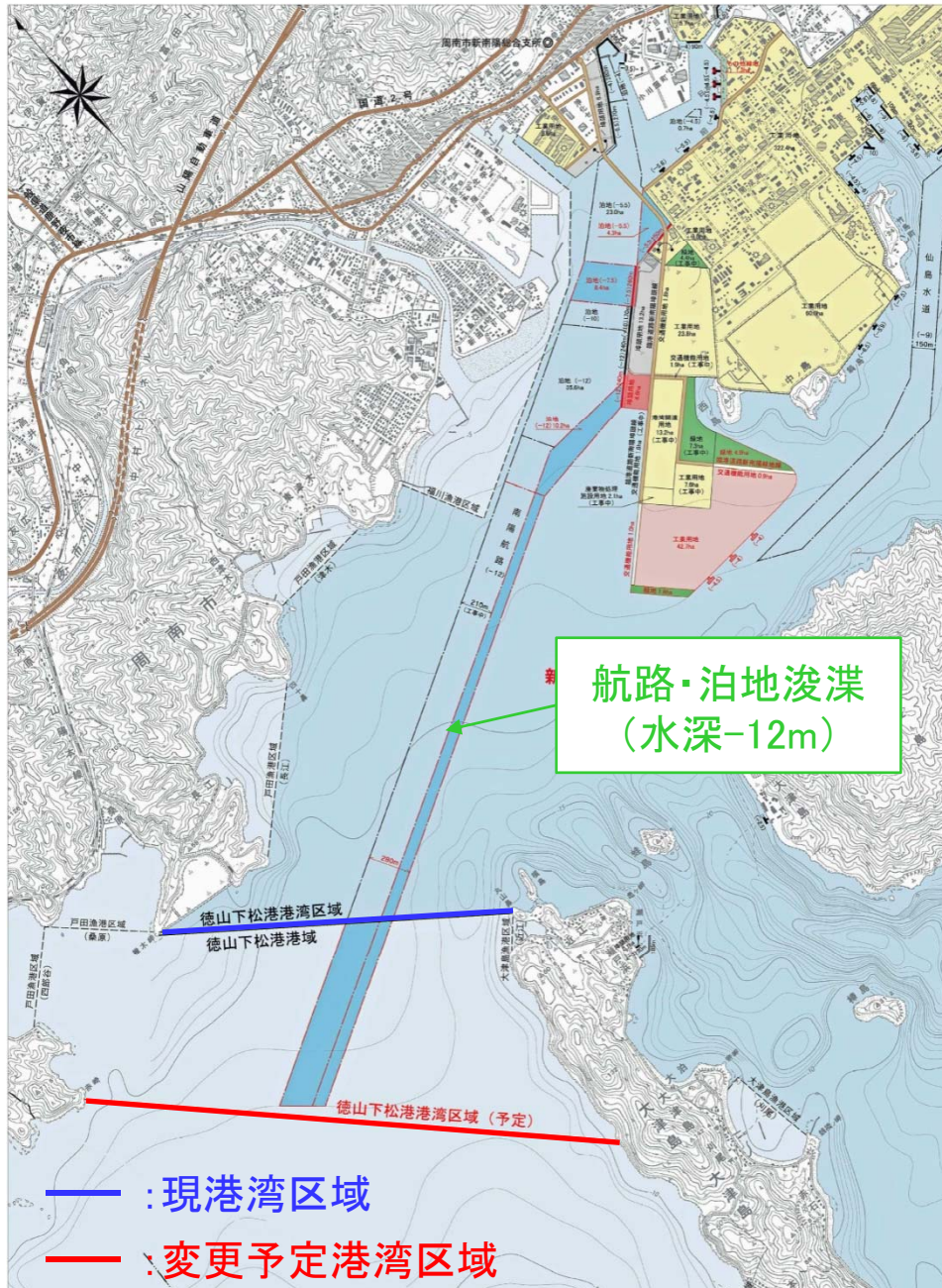
- ・平成9年度事業着手(-12m岸壁,ふ頭用地)
- ・平成23年1月に水深-10mで暫定供用開始
- ・残事業については平成28年度に完了予定
- ・平成24年度末の事業進捗率は69%



■事業の進捗状況

施工区分	施設名	進捗率
国	岸壁 (-12m)	完了
	航路・泊地 (-12m)	65%
山口県	臨港道路	完了
	埠頭用地	完了
全体		69%

港湾区域を変更する理由



○港湾区域の変更理由

- ・徳山下松港新南陽地区においては、平成9年度より**国際物流ターミナル整備事業**に着手
- ・当該事業においては、-12m岸壁及びびふ頭用地、臨港道路の整備に加えて**航路・泊地(-12m)の整備**を実施
- ・**航路先端部が現港湾区域外に及ぶこと**から港湾区域の変更が必要となるもの

航路浚渫工事工程表

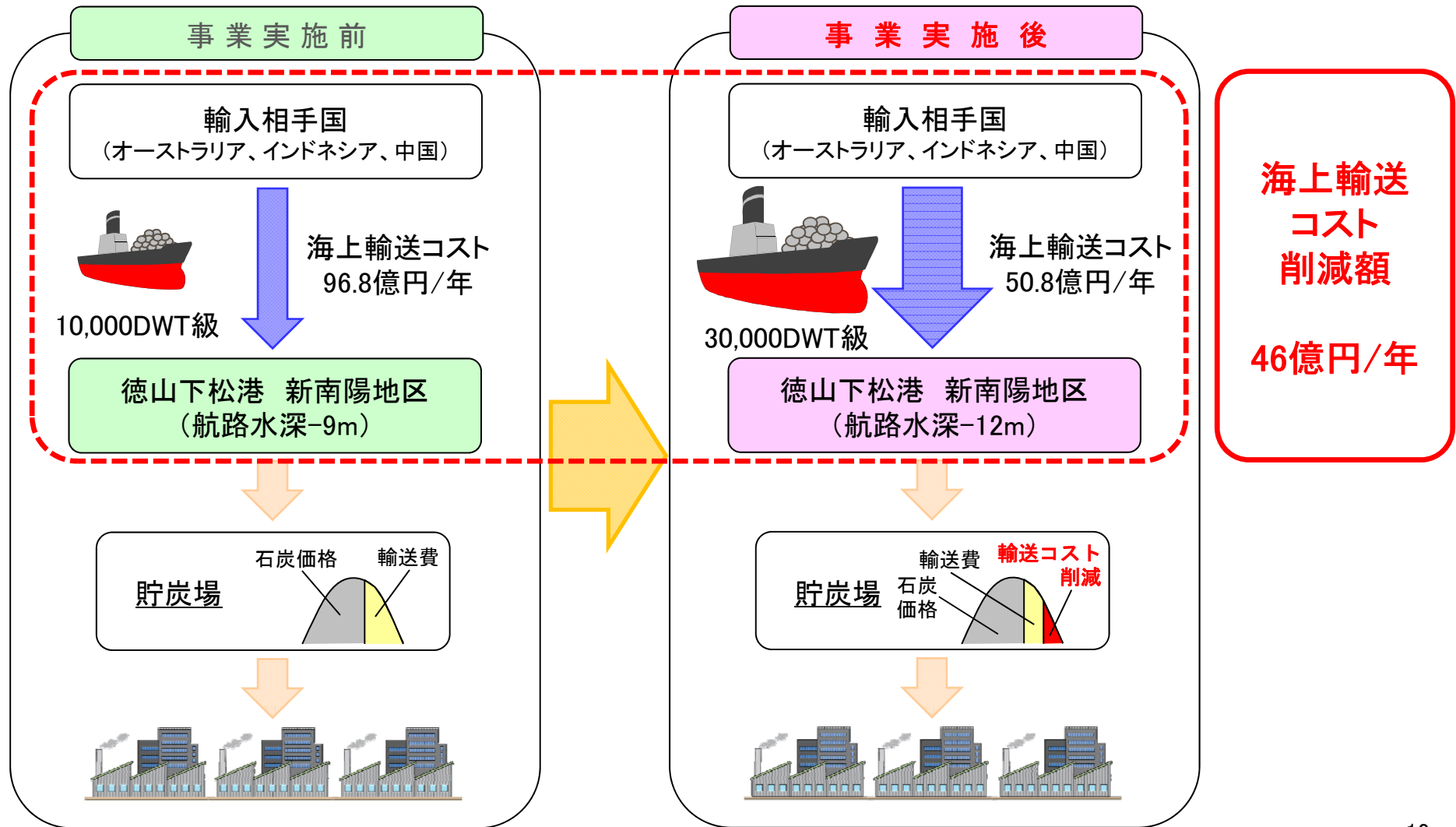
施設名	範囲	H23d	H24d	H25d	H26d	H27d	H28d
航路	港湾区域内	■	■	■	■	■	■
	港湾区域外				■	■	■

平成26年度半ばには、現港湾区域外での浚渫作業に着手の見込み

事業の効果

■船舶の大型化に伴う海上輸送効率化の便益

新南陽地区国際物流ターミナル整備事業を実施することにより、**大型船舶の入港が可能となり、大量一括輸送の実現により、年間約46億円の海上輸送コストが削減される。**



港湾区域拡大範囲の考え方

- 南陽航路を計画水深(-12m)で整備、維持管理するための必要最小限の範囲として設定
 - ①南陽航路(-12m)先端部における浚渫工事に使用する船舶の作業範囲を確保
 - ②利用者にとって分かりやすい港湾区域の形状とするため、三角点どうしを結ぶ直線
- 上記要件を満足する範囲として、赤崎四等三角点と郷屋四等三角点を結ぶ直線を変更予定
港湾区域に設定

